

## 手順① 全般的な知的発達水準

全検査IQ =  知能水準の分類 =  (左下の表から選ぶ)

パーセンタイル順位 =  90%信頼区間 =  ~

※ 知的発達に遅れがある可能性は  ある or  ない (どちらかを○で囲む)

## 手順② 言語性IQと動作性IQ

言語性IQ =  知能水準の分類 =  (左下の表から選ぶ)

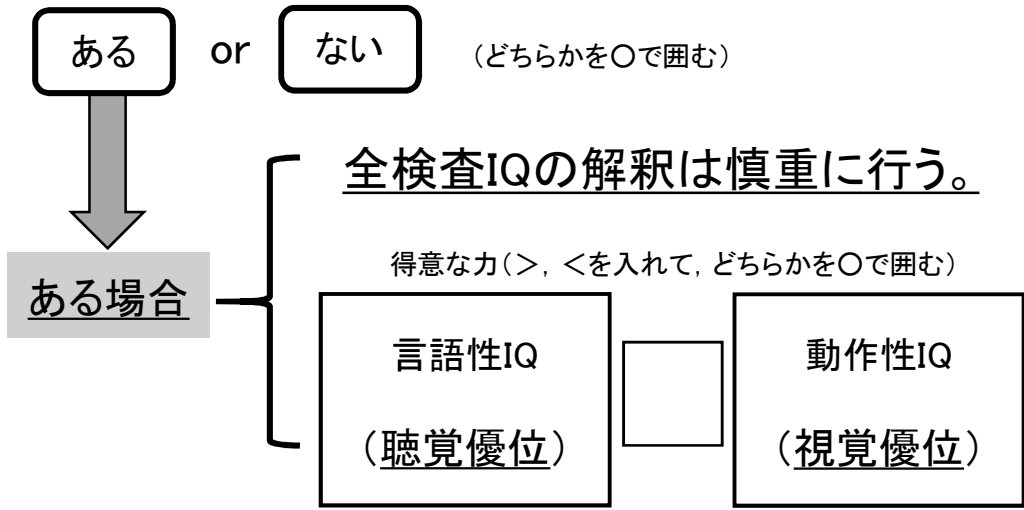
パーセンタイル順位 =  90%信頼区間 =  ~

動作性IQ =  知能水準の分類 =  (左下の表から選ぶ)

パーセンタイル順位 =  90%信頼区間 =  ~

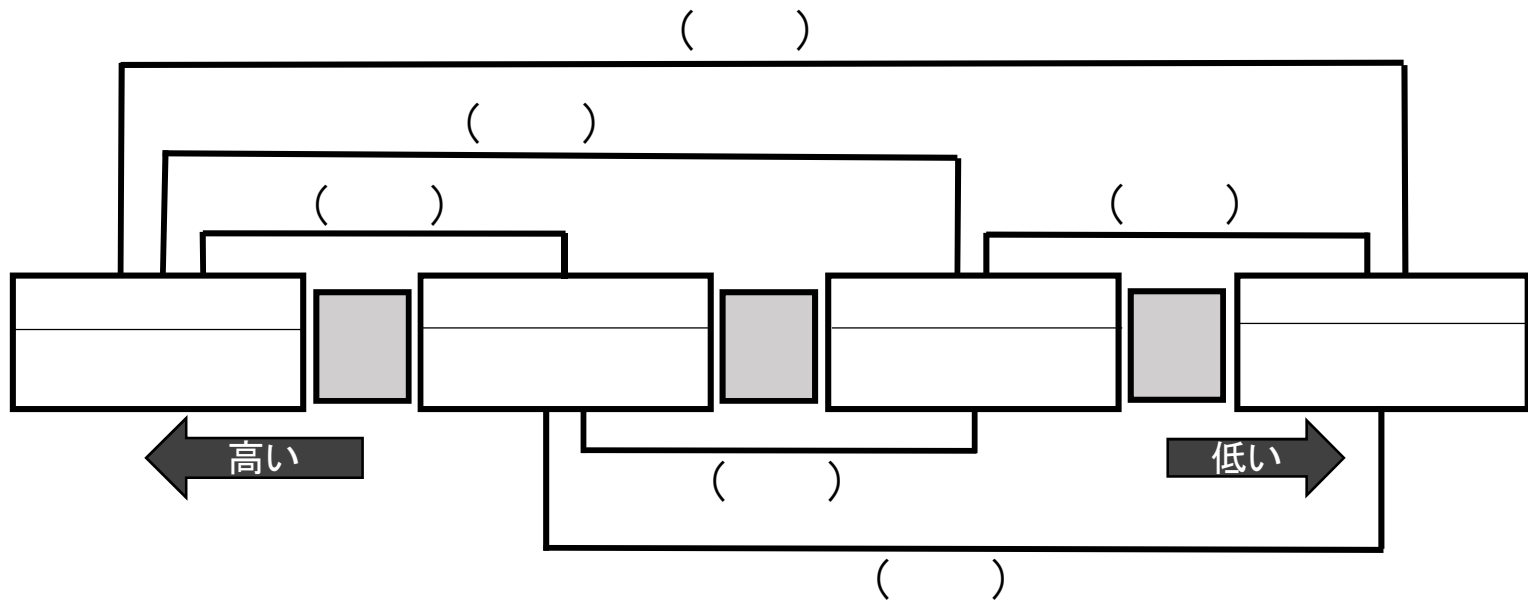
※ 言語性IQと動作性IQの有意差は  ある or  ない (どちらかを○で囲む)

IQ	分類
130以上	非常に優れている
120~129	優れている
110~119	平均の上
90~109	平均
80~89	平均の下
70~79	境界線
69以下	非常に低い



# 手順③ 群指数

- ①高い順番に並べる。②有意差があったら( )に※を入れる。
- ③隣同士をくらべて、有意差があったら□に>を、なかったら≒を入れる。



言語理解 (VC)	言語的な情報や、自分自身がもつ言語的な知識を状況に合わせて応用できる能力	知覚統合 (PO)	視覚的な情報を取り込み、各部分を相互に関連づけ、全体として意味あるものへまとめ上げる能力
注意記憶 (FD)	注意を持続させて聴覚的な情報を正確に取り込み、記憶する能力	処理速度 (PS)	視覚的な情報を、事務的に数多く、正確に処理していく能力

【有意差があった群指数を記入】

得意な力(群指数)	苦手な力(群指数)

## 支援方法

子どもの姿	推測される得意・苦手な力 (群指数)	支援方法